

令和6年1月

定例教育委員会会議録

十日町市教育委員会

令和6年1月定例教育委員会会議録

1 開催日時、会場

令和6年1月26日（金） 15時30分～17時15分
川西庁舎 4階 第1研修室

2 出席

渡辺正範教育長、浅田公子委員、廣田公男委員、渡邊奈々子委員、川崎正男委員

3 説明のため出席した者

教育文化部長（鈴木政広）、教育総務課長（玉村浩之）、学校教育課長（細木久成）、指導管理主事（藤田剛）、生涯学習課長（樋口具範）、スポーツ振興課長（庭野日出貴）、文化財課課長（菅沼巨）、文化財課副参事（相崎文幸）

4 会議の内容

（1）会議録署名委員の指名

署名委員：渡邊委員、川崎委員

（2）報告事項

① 共催・後援等報告

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

② 報告第1号 令和6年能登半島地震による教育委員会所管施設等の被害状況について

渡辺教育長

- ・事務局の説明を求めた。

各担当課長

- ・資料に基づき説明

渡邊委員

- ・地震当日の教育委員会事務局や学校職員の方の動きを教えてください。

玉村教育総務課長

・教育委員会事務局の職員は、市の災害初動マニュアルに基づき動いている。地震であれば震度4以上で教育委員会事務局職員は所管する施設の被害状況を確認することとなり、当日事務室に来られる職員が参集し被害状況を確認したところである。

藤田指導管理主事

- ・学校も震度4であれば近隣の職員や管理職が学校に行き、校舎校地の被害状況を確認

認することとなっている。震度5弱以上となると全職員を参集して、児童生徒の安全を確認することとなる。今回は震度4と5弱が市内で混在していたこともあり、保護者へのメール一斉送信で、児童生徒に被害があった場合連絡するようにお知らせさせていただいた。

廣田委員

・博物館では土器の転倒があったようだが、博物館と距離が近い情報館では本とかは倒れたりしなかったのか。

鈴木教育文化部長

・本が倒れるなどの被害はなかった。

渡辺教育長

・今回の地震の復旧については、軽微なものは修繕費を使って修繕、大規模なものについては新年度の国事業等も狙いながら、新たに予算計上する予定である。

(以上の質疑の後了承した)

③ 報告第2号 市立中学校のあり方検討委員会について

玉村教育総務課長

・資料に基づき説明

廣田委員

・資料の提言案について、委員から色々な意見が出たようだが、この意見を受けて修正するのか。

玉村教育総務課長

・方向性としてはおおむね了解と感じたが、各グループから各種意見があった。こういった意見を取りまとめた上で、雲尾委員長から提言案を修正していただく予定である。

川崎委員

・「中学校の配置」については、委員さんから様々な意見が出たと思うが、どんな議論があったか。

玉村教育総務課長

・この中学校の適正な配置が、やはり一番この提言の肝になるところであるので、第15回の会議の際に集中的に討議をいただいたところである。限定的な表現過ぎるんじゃないかとか、もっと踏み込んだほうがいいんじゃないかとか、いろんな意見があった。1つに絞るのがいいのか、色々な可能性を残すほうがいいのかというのは、委員さんによって考え方が違うかと思うが、出された意見を反映して、雲尾委員長のほうでさらに修正案を作成いただく予定です。

(以上の質疑の後了承した)

④ 報告第3号 十日町市文化財保存活用地域計画の策定について

相崎文化財課副参事

- ・資料に基づき説明

廣田委員

・資料の中に「財源確保を推進する」とあるが、違和感がある。「財源確保を図る」だとすっきりするように思う。

また、「周遊」と「回遊」という言葉が出てくるが、統一した方が良いのではないかと。または、別な言葉があれば。

最後に、「歴史文化遺産の保存・活用」のところで、「災害等から確実に守る」と書かれているが、具体的な施策を見るとソフト事業である。今回の地震でも文化財が破損しているので「確実に守る」というのは「防災対策の充実」などに変えた方がよいのではないかと。

相崎文化財課副参事

- ・ご指摘の点検討させていただく。

川崎委員

・「担い手や後継者の不足」というところに、後継者の育成を実施している団体と書いてあるが、現在どういった団体があるのか教えてほしい。あと、「博物館を核としたエリア周遊への誘導設備が不足」のところで、サインなどの案内の充実とあるが、サインというのは具体的にどんなことか。

相崎文化財課副参事

・ここでいう団体は、新保広大寺節などの無形の文化財団体のことである。こういった団体に何件かヒアリングしたが、一番の課題は担い手の育成である。サインは案内看板になるが、多言語での案内看板を整備していきたいと考えている。

(以上の質疑の終了承した)

(4) 議決事項

- ①議案第1号 十日町市公民館条例の一部を改正する条例案の承認について
- ②議案第2号 十日町市越後妻有文化ホール条例の一部を改正する条例案の承認について
- ③議案第3号 十日町市越後妻有文化ホール条例施行規則の一部を改正する規則制定について
- ④議案第4号 十日町市就業改善センター条例の一部を改正する条例案の承認について
- ⑤議案第5号 十日町市千手中央コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について
- ⑥議案第6号 十日町市松代総合センター条例の一部を改正する条例案の承認について
- ⑦議案第7号 十日町市松之山自然休養村センター条例の一部を改正する条例案の承認について
- ⑧議案第8号 十日町情報館条例の一部を改正する条例案の承認について

渡辺教育長

- ・議案第1号から第8号までを一括上程し、事務局の説明を求めた。

樋口生涯学習課長

- ・資料に基づき説明

渡辺委員

- ・使用料の改定で収入が210万円の増加が見込まれるということだが、支出で1,500万円近くの増額があると予想されている。収入以上に支出が増額となるが、これらを差し引いた増額部分はどのように賄うのか。

樋口生涯学習課長

- ・基本的には、利用者の増加を図らなければならないと考えている。現在、公民館をコミュニティセンター化して利用の幅を広げることを目指している。

渡辺委員

- ・この先同様の使用料値上げの改正が続くのではないかと考えてしまうが、その点はどうか。

樋口生涯学習課長

- ・社会教育委員からも意見があったが、電気料などが値がりする中で、受益者負担を上げることはしようがないだろうと。ただ、逆に電気料が下がれば、そのときは使用料も下げるような柔軟な体制も考えて運営をするべきというような意見も伺っているが、我々の努力でこの増額はなかなか抑えられない状況である。

廣田委員

- ・部屋の使用料のほかに、備品も値上げするとのことだが、電気を使わない備品もある。これを値上げする理由は。

樋口生涯学習課長

- ・備品が壊れたときは当然修繕が必要になる。この修繕費用も値上りしており、修繕費用も含めて一律の値上げと考えた。

廣田委員

- ・「増加する経費への対応」として「レコーディング等の使用回数の増加に努める」とあるが、これはどういった意味か。

樋口生涯学習課長

- ・段十ろうのホールの音響がいいと評論家の方から評価をいただいた。レコーディング会社からホールを利用いただいて、使用料の収入増加に努めていきたいという意味である。

(以上の質疑の後一括で決定した)

5 その他

(1) 令和5年度市立学校卒業証書授与式について

藤田指導管理主事

- ・資料に基づき説明

(2) 2月の主な行事予定について

- ・資料に基づき説明

(3) 次回定例教育委員会の開催日時

- ・2月定例会 2月22日(木) 13時30分から開催することを確認した。
- ・3月臨時会 3月8日(金) 9時30分から開催することを決定した。

以上で、17時15分に渡辺教育長が閉会を宣言した。

以上の会議録に誤りがないことを認め、ここに署名する。

会議録署名委員

会議録署名委員

会 議 書 記